

上尾市図書館の在り方検討資料

(令和元年度第4回上尾市図書館協議会)

令和2年1月10日
上尾市教育委員会図書館

目次

1. 目指すべき姿の構成	・・・	1
2. 資料や情報の収集など基本的機能の充実	・・・	2
3. 多様なニーズに対応するサービスの提供	・・・	3
4. 教育力の向上のための支援	・・・	4
5. 時代に合わせた環境の整備	・・・	5
6. 留意すべき点	・・・	6
7. 各館（室）の方向性	・・・	7
8. 上平地区複合施設の図書館分館機能について	・・・	8

1. 目指すべき姿の構成

アンケート結果や、これまでの協議に基づき、「収集」「提供」「教育支援」「環境整備」の4つを柱とする。

収集

(1) 資料や情報の収集など基本的機能の充実

- ア. 図書館の基本的機能の更なる充実を
- イ. 地域の歴史や文化、行政などの資料の積極的な収集を

提供

(2) 多様なニーズに対応するサービスの提供

- ア. レファレンス対応を強化し、市民の課題解決に資する取り組みを
- イ. ニーズの高いIT設備の導入を

教育支援

(3) 教育力の向上のための支援

- ア. 生涯学習の拠点として、市民の学びと活動の循環を
- イ. 若年層向けのサービスを充実させ、地域教育力の向上を

環境整備

(4) 時代に合わせた環境の整備

- ア. 利用者ニーズや利用実態を考慮したレイアウトや備品の見直しを
- イ. サードプレイスとしての居心地の良い図書館の構築を

2. 資料や情報の収集など基本的機能の充実

ア. 図書館の基本的機能の更なる充実を

上尾市図書館の在り方の検討を着手するにあたっては、これまで担ってきた役割や機能の意義を尊重してほしいと考えます。また、図書館法における図書館の定義は約70年の間変わっておらず、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」で掲げられる基本的機能について、更なる充実を目指すとともに、これまでの取り組みで成果を挙げている事業は、引き続き推進することが望まれます。

イ. 地域の歴史や文化、行政などの資料の積極的な収集を

「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」では、「地域内の郷土資料及び行政資料、新聞の全国紙及び主要な地方紙など多様な資料の整備に努めるものとする」とされていますが、図書館での扱いの他、生涯学習課で収集・保存している資料があり、管理が一元化されていないことから利用者への提供は不十分な状況です。関係各課との調整によって運用を整備し、図書館が地域資料などの収集を積極的に行うことが期待されます。

3. 多様なニーズに対応するサービスの提供

ア. レファレンス対応を強化し、市民の課題解決に資する取り組みを

第2次図書館サービス計画でも重要な施策として推進してきたレファレンスサービスを見直し、その取り組みを強化してほしいと考えます。これまでの課題を整理し、利用者に寄り添い、利用しやすいサービスを展開できる体制を検討するとともに、子育て・健康福祉・ビジネスなど市民の課題解決を支援するサービスへと発展させることが望まれます。

イ. ニーズの高いIT設備の導入を

市民ニーズの高い自動貸出機や自動返却機の導入については、将来的にICタグを導入するための継続的な検討を要するものですが、公衆無線LANや電子書籍などの図書館サービスの質と効率を向上させるIT化は、現状においても導入に向けた検討が可能と考えられます。

4. 教育力の向上のための支援

ア. 生涯学習の拠点として、市民の学びと活動の循環を

「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について(平成30年12月21日中央教育審議会答申)」において、図書館の新たな役割として、地域住民の情報・交流拠点として学びと活動の循環を生み出し、社会教育の拠点を目指すよう記されています。様々な人が集まる図書館の特性を生かし、市民の学びと活動を支援する取り組みを推進することが望まれます。

イ. 若年層向けのサービスを充実させ、地域教育力の向上を

生涯を通じて本に親しむ礎を築くためには、「あげお子ども読書プラン」の推進を図るとともに、若年層のニーズに合わせたサービスを積極的に展開することが望まれます。図書館に滞在する若者を増やし、交流を促進することで、新たな学びへのきっかけを提供する場となることが期待されます。

また、図書館が若年層を支援する取り組みを推進し、地域全体の教育力向上に寄与していくことが求められます。

5. 時代に合わせた環境の整備

ア. 利用者ニーズや利用実態を考慮したレイアウトや備品の見直しを

今年度実施した「たちばな分館リニューアル」は、閲覧席や学習席などを拡充し、将来の多目的利用も想定したのですが、現状で利用者や貸出数の増加という結果が出ています。アンケート調査の結果では、各館（室）において同様のニーズが認められるため、施設レイアウトや備品などの見直しは継続的に行う必要があります。

イ. サードプレイスとしての居心地の良い図書館の構築を

アンケート調査では、図書館が将来進むべき方向性のイメージとして、「気軽に立ち寄れる」「居心地のよい空間」「身近にある」が最も多くなっています。今後の図書館では、家庭でも職場でもない第3の居場所（サードプレイス）としての役割を担い、子供や子育て世代、ビジネスパーソン、高齢者など全ての利用者にとって親しみやすく居心地のよい空間の構築が望まれます。

6. 留意すべき点

(1) 現状の図書館サービス網は可能な限り維持を

アンケート調査では、図書館サービスの今後の方向性として、「現状の施設に対する改修・修繕、または建替えを行い、本館・分館（室）のサービス網を維持する」が50.1%と最も多く、「施設の位置や配置を見直し、本館・分館（室）のサービス網を再構築する」は26.1%となっています。人口減少・超高齢化社会の進行や、社会保障関連経費の増大や税収の減少など、財政状況の悪化も見込まれる中ではありますが、アンケート調査の意見を尊重することを望みます。

(2) 老朽化が進む施設への対応は、市の他の計画などを踏まえて検討を

図書館施設の9館（室）のうち、5館（室）で築年数30年を超えており、老朽化に対する対応が喫緊の課題になっていますが、市の他の計画などを踏まえながら検討を進めることが求められます。なお、検討に際しては市民の意向を十分に考慮し、適切な空間が構築されるよう望みます。

(3) 運営体制の柔軟な検討と計画的な職員の育成を

昨今、指定管理者制度を導入した公共図書館が増えていますが、平成28年度本協議会では、各計画で掲げられた目標を達成するためには現行の体制を継続することが望ましいとの答申をしています。しかしながら、社会情勢と市民ニーズが刻々と変化する中では、過去の答申に縛られることなく、常に利便性と効率性が高まる体制を模索していくことが求められます。また、どのような運営体制になった場合でも、図書館業務に精通する職員の育成や司書資格者の配置は適切に行われることを期待します。

7. 各館（室）の方向性

上尾市図書館では、本館が図書館資料の収集・整理・保存・提供の他、集会活動などの実施、資料や図書館利用に関する指導といった基本機能の全般を備えるとともに、図書館資料の提供を主たる機能とする分館（室）を統括、調整して、市域全体を一体的な図書館サービス網として運営しています。一方、分館（室）は、地域の図書館として実情に合った運営をしています。

しかしながら、施設の状況やアンケート結果などを考慮し、各館（室）別に今後進むべき方向性を検討する必要があります。

メモ欄

(1) 上尾市図書館（本館）

(6) たちばな分館

(2) 上尾駅前分館

(7) 上平公民館図書室
※次ページ参照

(3) 大石分館

(8) 原市公民館図書室

(4) 瓦葺分館

(9) 大谷公民館図書室

(5) 平方分館

8. 上平複合施設の図書館分館機能について

(1) 基本的な考え方

市公共施設等総合管理計画を踏まえ、老朽化した上平公民館図書室を上平複合施設へ移転すると仮定し、考えるものとする。また、アンケート調査結果からみられる上平公民館図書室における課題の解消に努める。

アンケート結果に見られる上平地区の課題

- ① 上平公民館図書室では、図書資料や施設・設備に対する不満の割合が比較的高い。
- ② 上平地区では、図書館の今後の方向性として再構築を望む回答が比較的多い。
- ③ 上平地区の利用者は、最寄りの上平公民館図書室より、本館を利用する方が多い。

(2) どのような分館を目指すか

現在検討中の「上尾市図書館の今後の在り方」の目指すべき姿を踏まえたものとする。

ア. 図書館の基本的機能の充実

蔵書の充実、ICタグ管理等

イ. サードプレイスとしての図書館を目指し、居心地の良い空間の構築

開放的な空間、閲覧席の充実、専用学習席等

ウ. ニーズの高いIT設備の導入

自動貸出・返却機の導入、公衆無線LAN等